

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

令和 7 年 6 月 27 日

（宛先）山形市長 佐藤考弘 様

提出者

住 所 山形県天童市大字蔵増148番地11

氏 名 株式会社 村山運送

代表取締役 村山裕樹

電話番号 023-665-1277

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社 村山運送
事業場の所在地	山形市立谷川3丁目895番地11
計画期間	令和6年4月1日から令和7年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	運送業・廃棄物処理業
② 事業の規模	運送業3,058,365千円 廃棄物処理業748,498千円 その他41,282千円
③ 従業員数	290名
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙のとおり

（日本工業規格 A列4番）



産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)
別紙のとおり

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（ 6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	排 出 量	別紙のとおり t	t
	（これまでに実施した取組） 選別中間処理の際に、再生可能な廃棄物はリサイクル処理を徹底し、廃棄物の選別の細分化に努めている。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	排 出 量	別紙のとおり t	t
	（今後実施する予定の取組） 選別中間処理の際に、再生可能な廃棄物についてはリサイクル処理を徹底し、廃棄物の選別の細分化を進めるとともに、排出事業者様へ廃棄物の再生抑制と分別の指導を行う。また社内教育を行いスキルアップを図る。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 分別できない複合材・混合廃棄物以外は再生利用できるように選別を徹底している。
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 分別できない複合材等の有効利用を模索しリサイクル率の向上を図る。

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（ 6 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	別紙のとおり t	t
	(これまでに実施した取組) 特になし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	別紙のとおり t	t
	(今後実施する予定の取組) 特になし		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（ 6 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	別紙のとおり t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	別紙のとおり t	t
	(これまでに実施した取組) 廃プラスチック類・木くず・ガラスくず・がれき類・金属くず・汚泥・廃油の処理先選定は再生利用、サーマルリサイクルの順で行っている。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	別紙のとおり t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	別紙のとおり t	t
	(今後実施する予定の取組) 石膏ボードやがれき類の大部分を埋立処分しているため、これらの再生利用先の探索が必要である。		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（ 6 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
	特になし		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（ 6 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
	再資源化率の高い業者へ処理を依頼している。		

(第5面)

(第5面)

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	全 処 理 委 託 量	別紙のとおり t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	別紙のとおり t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	別紙のとおり t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	別紙のとおり t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	別紙のとおり t	t
	(今後実施する予定の取組) 再生利用、熱回収が可能な廃棄物のさらなる資源化に努め、広い視野で リサイクル事業者の情報収集を行う。		
※事務処理欄			

(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

【前年度（6年度）実績】

(第3章)

【前年度（6年度）実績】

[illegible]

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項															
【前年度(年度)実績】															
①現状	産業廃棄物の種類	無													
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】														
	産業廃棄物の種類	無													
③計画	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t
	産業廃棄物の種類	無													
産業廃棄物の処理の委託に関する事項															
【前年度(6 年度)実績】															
①現状	産業廃棄物の種類	ガラス陶磁器くず	がれき類	金属くず	廃プラスチック類	木くず	汚泥	廃油	繊維くず	紙くず					
	全処理委託量	611,001 t	51,300 t	455,825 t	149,943 t	276,480 t	7,123 t	1,972 t	3,836 t	0,760 t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】														
	産業廃棄物の種類	ガラス陶磁器くず	がれき類	金属くず	廃プラスチック類	木くず	汚泥	廃油	繊維くず	紙くず					
③計画	全処理委託量	261,760 t	1,480 t	3,500 t	531,994 t	268,220 t	0,523 t	0,000 t	3,636 t	0,000 t	t	t	t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	0,000 t	0,000 t	0,000 t	11,811 t	276,440 t	0,000 t	0,072 t	3,636 t	0,000 t	t	t	t	t	t
④計画	指定熱回収業者への処理委託量	0,000 t	0,000 t	0,000 t	0,000 t	0,000 t	0,000 t	0,000 t	0,000 t	0,000 t	t	t	t	t	t
	指定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0,000 t	0,000 t	0,000 t	0,000 t	0,000 t	0,000 t	0,000 t	0,000 t	0,000 t	t	t	t	t	t
⑤計画	【目標】														
	産業廃棄物の種類	ガラス陶磁器くず	がれき類	金属くず	廃プラスチック類	木くず	汚泥	廃油	繊維くず	紙くず					
⑥計画	全処理委託量	600,000 t	50,000 t	20,000 t	140,000 t	250,000 t	7,000 t	1,500 t	3,000 t	0,500 t	t	t	t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	250,000 t	1,000 t	20,000 t	500,000 t	250,000 t	1,000 t	0,500 t	3,000 t	0,000 t	t	t	t	t	t
⑦計画	指定熱回収業者への処理委託量	0,000 t	2,000 t	0,000 t	10,000 t	250,000 t	0,000 t	0,100 t	3,000 t	0,000 t	t	t	t	t	t
	指定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0,000 t	0,000 t	0,000 t	0,000 t	0,000 t	0,000 t	0,000 t	0,000 t	0,000 t	t	t	t	t	t
⑧計画	【目標】														
	産業廃棄物の種類	ガラス陶磁器くず	がれき類	金属くず	廃プラスチック類	木くず	汚泥	廃油	繊維くず	紙くず					
⑨計画	全処理委託量	0,000 t	0,000 t	2,000 t	110,000 t	0,000 t	5,000 t	0,000 t	0,000 t	1,000 t	t	t	t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	0,000 t	0,000 t	0,000 t	0,000 t	0,000 t	0,000 t	0,000 t	0,000 t	0,000 t	t	t	t	t	t
⑩計画	指定熱回収業者への処理委託量	0,000 t	0,000 t	0,000 t	0,000 t	0,000 t	0,000 t	0,000 t	0,000 t	0,000 t	t	t	t	t	t
	指定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0,000 t	0,000 t	0,000 t	0,000 t	0,000 t	0,000 t	0,000 t	0,000 t	0,000 t	t	t	t	t	t